

一般質問

(一般質問は4面・5面にも掲載)



公明党 横山 むらさき

自他共栄の平和を創造する 人材育成は教育の力で

一 平和学習について

我が国は唯一の被爆国である。平和創造のために児童・生徒が核の脅威について学ぶ機会はあるか。また、※積極的平和はSDGsの理念と重なるが、2030年の目標に向け園小中一貫教育で学ぶ体系的なカリキュラムはあるか。

二 投票率の向上について

Sの理念を含めて策定する。民主主義の根幹である選挙は国民が主権を持つ大切な制度であるが、投票率は低下傾向にある。若者の投票率向上や高齢者の投票環境改善への取り組みはどうか。



自民党 秦野 相原 學

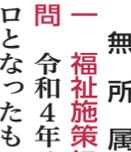
農福連携を通じた 農業者と障がい者の相互理解を

一 農福連携について

農福連携とは、障がい者などが農業分野で活躍することを通じて、自信や生きがいをもって社会参画を実現していく取り組みであるが、本市における現在の進捗はどのようか。



障がいなどを抱える人と農業者をつなぐ支援を

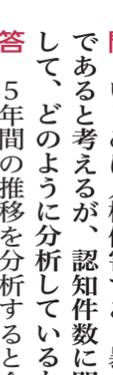


無所属 佐藤 文昭

市は保留児童ゼロに向けた 取り組みを急げ

一 福祉施策について

令和4年4月に待機児童はゼロとなったものの、隠れ待機児童とも言われる※保留児童への対応が必要である。1人でも多くの保留児童を入所につなげる必要がある中で課題はどのようか。

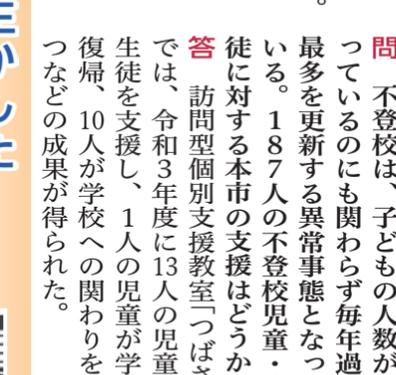


公明党 山下 博己

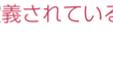
文化財を生かした 情緒あるまちづくりを

一 緑水庵を拠点としたまちづくりについて

表丹沢魅力づくり構想の実現のため、緑水庵の活性化は重要である。①緑水庵をサイクリストの立ち寄り拠点にするとともにWi-Fiスポットとすること、②緑水庵を拠点として周遊するための駐車場整備を進めること、③「葦毛自然観察の森」の整備を自伐型林業を進めることについての見解は、



緑水庵を地域のにぎわいの拠点へ



平和の尊さを次世代へ(写真は、秦野市平和祈念公園)



創和会 阿蘇 佳一

コロナ・災害・覚せい剤から 大切な命を守ろう

一 新型コロナウイルス感染症対策について

①感染状況や自宅療養者へのサポート、子どもへの接種体制は、生活困窮者への支援は、どうか。

二 多種多様な自然災害について

①鶴巻地区の水害対策の整備状況と投資効果は、②令和3年7月に東田原地区で発生した土砂崩れへの対策は、どうか。

三 薬物乱用防止と特殊詐欺について

アルバイト感覚で特殊詐欺に加担する者やストレスで薬物依存する若者が増えているが、実態は、令和3年版犯罪白書によれば、検挙者は特殊詐欺の約7割が30歳未満、覚せい剤は8654人、大麻は5034人。また、秦野警察署管内の薬物事犯は20人であった。



地域住民を災害から守る環境整備を



創和会 諸星 光

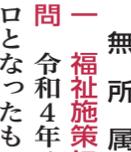
自然と都市機能が調和した 全国屈指の森林観光都市に

一 森林観光都市に向けて

表丹沢の魅力づくりと小田急4駅のにぎわい創造を一体的に進め、森林観光都市を目指すとのことだが、具体的取り組みはどうか。



表丹沢総合ホームページ「OMOTAN」

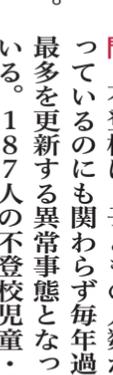


無所属 佐藤 文昭

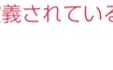
市は保留児童ゼロに向けた 取り組みを急げ

二 通学路の安全対策について

児童・生徒を交通事故から守るため、どのような取り組みを行っているか。



公明党 山下 博己



「魅力づくりビジョン」を掲げ、ロゴマーク「OMOTAN」の作成やホームページの開設などを行った。また、小田急4駅のにぎわい創造では、検討懇話会の立ち上げに取り組みしており、特に秦野駅北口については、令和5年度にまちの未来ビジョンを策定していく。

要望 自然と都市機能が調和した森林観光都市の実現に向けて積極的に挑戦してほしい。

二 関連イベントとして、どのようなものを考えているか。

要望 国の進める※ウォークアブル推進都市に応募し、古民家や文化財など、地域資源の魅力を生かしたまちづくりを進めてほしい。

用語解説

※積極的平和…平和学の第一人者といわれるノルウェーのヨハン・ガルトゥング博士が唱えているもので、「貧困、抑圧、差別などの構造的暴力がない状態」と定義されている。
※ウォークアブル推進都市…「居心地が良く歩きたくなるまちなか」づくりを目指す政府の方針に賛同し、事業推進に取り組む自治体のこと。
※保留児童…希望する保育所に入所できず、利用が保留となっている児童のこと。